

授業科目名	簿記Ⅰ	※選 択	開講年次	2	単位数	2
科目区分	基本科目					
サブタイトル	簿記入門		担当者	大谷 泰彦		
講義概要	<p>【概要】 簿記はビジネスに必要不可欠な知識です。  本講義は、簿記を初めて学習する学生を対象とした入門編であり、簿記の基本ルールを身につけることを目的としています。  なお、対象が法学部の学生であることを考慮し、会社法や金融商品取引法、あるいは手形法・小切手法といったいわゆる企業法とも関連付けながら具体的な事例を用いて分かりやすく解説をします。</p> <p>【到達目標】  日商簿記検定試験3級の合格レベル（やる気のある学生は受験することを薦めます）</p>					
履修条件	「簿記Ⅰ」と「簿記Ⅱ」は連続した1セットの講義となりますので「簿記Ⅰ」を履修する学生は必ず「簿記Ⅱ」も履修する必要があります（どちらか一方のみの履修は認められません）。					
教科書・参考書	<p>【教科書】  『日商簿記3級合格テキスト』TAC簿記検定講座（TAC出版）</p> <p>【参考書】</p>					
授業回数	内容					
1	簿記とは何か					
2	簿記の流れ					
3	商品売買					
4	現金・預金					
5	手形・小切手					
6	債権・債務					
7	固定資産					
8	有価証券					
9	試算表					
10	決算①					
11	決算②					
12	決算③					
13	決算④					
14	伝票					
15	総合問題演習					
評価方法	出席 40% 期末試験 60%					
評価基準	上記授業単元の内容について、概略を理解した者については「C」とし、その背景や理由等も理解した者については「B」、さらに、主要な学説や判例を理解し、自己の見解を適切に表現できた者については「A」とする。単元の内容についての理解が不十分な者についてはその程度に応じて「D」または「E」とする。					
その他	※Eカリキュラム経営法コースの学生は選択必修科目					